

にしむろアグリ情報



■うめの超省力枝梢管理技術と低樹高コンパクト整枝の導入推進による産地維持【重点プロジェクト】

西牟婁地域の基幹作物であるうめは、冬期の気象条件により作柄が大きく変動し、生産量や価格が不安定になっています。また、農業従事者の減少や高齢化が進んでおり、産地を維持していくためには、重労働かつ多くの労力を必要とする収穫やせん定等の管理作業を大幅に軽減させる技術の導入が必要です。

そこで、農業水産振興課では令和6年度～8年度の3カ年にかけて、次の取組を行っています。

- ①充電式電動バリカンによる春季摘心処理の導入推進及び夏季摘心の追加処理による秋季せん定作業の軽減効果について、実証圃を3ヶ所設置。
- ②収穫やせん定等の管理作業軽減効果の啓発及び導入推進を図るため、成木のカットバック処理実証圃を4ヶ所、幼木のコンパクト整枝（ムカデ整枝）の実証圃を1ヶ所設置。
- ③収穫やせん定作業などの管理作業の大幅な軽減に繋がる技術普及のため、JA 営農指導員との技術の共有や請負グループ育成のための講習会の開催。

これらの活動は、JA や市町等の関係機関と連携しながら行っており、得られた成果は少しずつでも着実に地域に広められるよう、今後も現地での活動を進めて行く予定です。



摘心講習会（上富田町岡）

■いちご施設栽培におけるスマート農業技術導入による高品質安定生産

近年、農作業の省力化や生産性の向上を図るためのスマート農業技術の導入が進む中、農業水産振興課では、関係機関と連携し、いちご施設栽培における炭酸ガス施用機等の環境制御装置の導入による高品質安定生産に取り組んでいます。

今年度は、炭酸ガスの様々な施用方法による収量や品質、生育への影響、燃油使用量等の経費の調査を行っています。

今後も関係機関と連携し、スマート農業技術導入による高品質安定生産に向けた取組を行います。



現地研修会（田辺市稻成町）

■SUN・燐紀南農業者の集いを開催しました

西牟婁地方の農業者が、組織・年齢・生産部門などを越えて、地域農業の発展に向けた取組に繋げることを目的に、農業土会・生活研究グループ・4H クラブで構成する実行委員会が開催しています。今年度は「経営改善！小さなことからコツコツと」をテーマとして、9月10日に県情報交流センターBig・uで実施し、約80名が出席しました。

ファームサイド株式会社代表取締役 佐川友彦氏から「農業経営改善の必要性とその進め方について」と題して、経営改善の進め方や働きやすい農園づくりのポイントについての講演がありました。その後、農業水産振興課から、「農作業安全、熱中症対策」「うめの超省力化枝梢管理技術と低樹高コンパクト整枝導入推進の取組」について情報提供を行いました。



講演 ファームサイド株式会社 佐川友彦氏



重点プロジェクト情報提供（行森普及指導員）

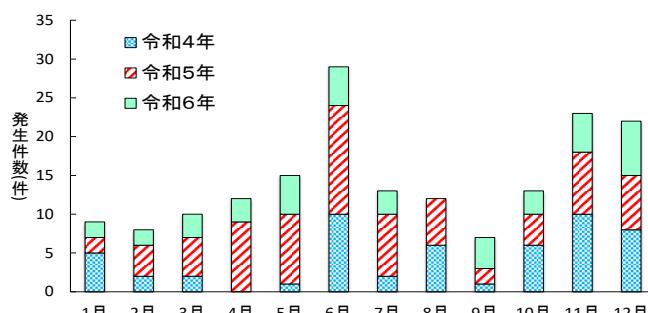
■農作業安全啓発に関する取組

農作業事故が近年増加傾向にあります。和歌山県内で起きた農作業事故の過半数は脚立・樹木からの転落や作業中の転倒であり、うめの収穫期である6月と、みかんの収穫期である11月、12月に特に多く発生しています。

農業水産振興課では、農作業安全に関する啓発活動を実施しています。10月15日に田辺市秋津川で開催された農作業安全啓発研修では、地域の農業者や関係者約40名を対象に、（株）東海近畿クボタ紀南営業所の技術指導員を講師に迎え、スマート農機の特徴や導入の利点及び使用上の注意点について説明をいただくとともに、当課からチラシを用いて農作業安全に関する啓発を行いました。



農作業安全啓発研修（田辺市秋津川）



農作業事故の発生件数（休業補償対象）

（農作業安全啓発チラシ（県作成）から抜粋）

■クビアカツヤカミキリの早期発見に向けた取組

県北部でうめをはじめとするバラ科植物の特定外来生物のクビアカツヤカミキリによる被害が拡大しています。令和5年5月に県中部でも被害が確認されたことから警戒を強めています。本虫は繁殖能力が非常に高く、一度侵入した場合、全てを駆除することは難しいことから水際での対策が重要です。

農業水産振興課では、チラシの配布や広報誌の掲載による啓発活動の他、関係機関と連携してうめ、すもも、さくらの発生状況調査を毎年実施しており、今年度は10月末時点で、延べ2,901本を調査しました。また、クビアカツヤカミキリに対する理解を深め早期対応を実現するために、現地研修会を関係機関（市町、JA）を対象に実施しています。さくらで甚大な被害が発生している大阪府羽曳野市において、成虫の発生状況や被害状況の確認、ブラックライトを利用した卵の早期発見技術の実習を行いました。

紀南地域では、これまでクビアカツヤカミキリによる被害は確認されていませんが、被害を抑えるためには早期発見・早期対策が必要不可欠です。本虫と疑われる成虫やフラス（木くずと幼虫の糞の混合物）を発見した場合は、当課又はJAにご連絡ください。



クビアカツヤカミキリ成虫



フラス



現地研修会（大阪府羽曳野市）

■スマート農機の推進及び導入状況

和歌山県では、働きやすい園地づくりや高品質果実の生産を推進するため、スマート農機や新技術の導入を支援しています。「次世代につなぐ果樹産地づくり事業」では、これまで農業用ドローンや電動高枝せん定バサミ、リモコン式草刈り機、アシストスーツなどの導入実績があり、令和6年度には西牟婁管内で約60件の申請がありました。

実際に導入した方からは、「ドローンは基本的に自動で動いてくれるため、思ったよりも扱いやすい。」「アシストスーツを着用すると作業負担が軽減した」などの意見をいただいています。



リモコン式草刈り機



農業用ドローン

◎受賞者の紹介

令和7年度和歌山県知事表彰 受賞者の紹介

■高垣 せり氏（田辺市上秋津）

うめとかんきつ類を中心とした複合経営を行い、所得向上に繋げるとともに、農作業の省力化や有望品目の生産規模拡大等に積極的に取り組み、地域農業の発展に多大な貢献をされました。また、県農業士会連絡協議会女性部会の副会長や田辺生活研究グループの会長を務めるなど、女性組織の活動に尽力されました。



■収入保険に加入しませんか

農業を経営する皆様 『収入保険』 に加入しませんか？

POINT 要チェック！！

今年、加入申請をした場合
翌年の1年間が保険期間となります。
※申請年は保険期間外なのでご注意下さい。

青色申告されている農業者ならだれでも加入できる保険で農業者の収入を補てんします。
簡単にお見積りできますので、興味のある方は是非お問合せ下さい！見積りは無料です。

NOSAIわかやま なんぶ支所
〒646-0027 田辺市朝日ヶ丘24-10
☎ 0739-22-0833

NOSAIでは収入保険以外も各種共済を取り扱っています
詳しくは下記ホームページをご覧ください!!

<http://www.nosai-wakayama.or.jp/>

西牟婁振興局 農林水産振興部 農業水産振興課

〒646-8580 和歌山県田辺市朝日ヶ丘 23-1

TEL : 0739-26-7941 (栽培技術・経営相談、新規就農支援、食育推進など)

TEL : 0739-22-1443 (補助事業、鳥獣害対策・狩猟、農地貸借、農家民泊、養蜂など)

FAX : 0739-26-7945

URL : <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/130600/130651/index/index.html>